

# 1 工業用水道事業の概要

道営工業用水道事業は、室蘭地区工業用水道が昭和42年に給水を開始して以来、昭和45年に苫小牧地区第一工業用水道、昭和54年に苫小牧地区第二工業用水道、平成11年に石狩湾新港地域工業用水道及び苫小牧東部地区第一工業用水道がそれぞれ給水を開始しました。

その後、社会経済情勢及び産業構造の変化等による新規企業立地の停滞や、水のリサイクル技術向上による企業の水使用の合理化等に伴い、工業用水の需要が低迷していたことから、経営の健全化を図るため未稼動資産等の整理を行い、平成18年度末をもって石狩湾新港地域工業用水道の事業規模を縮小するとともに、苫小牧東部地区第一工業用水道を廃止し苫小牧地区第二工業用水道に給水区域を引き継ぎました。

さらに平成23年度には苫小牧地区の2事業を統合し、現在3事業4施設で営業を行っています。

給水能力については、室蘭地区では日量11万5千立方メートル、苫小牧地区では日量20万立方メートル、石狩湾新港地域では日量1万2千立方メートルとなっており、安価で良質な工業用水の供給を通じ各地区工業地帯の発展に寄与しています。

令和4年度に石狩湾新港地域で新規1社と増量1社があり、石狩湾新港地域の契約水量が6,293 m<sup>3</sup>/日となり、給水開始以来、初めて契約率が半分を超え52.4%の契約率となりました。

令和5年度の給水収益は、室蘭地区6億8,279万円、苫小牧地区10億8,376万円、石狩湾新港地域1億2,629万円の合計18億9,286万円(いずれも税抜)を見込んでいます。

また現在は、室蘭地区工業用水道第四期改修事業(ダム放流設備の耐震化)、苫小牧地区工業用水道第二期改修事業(配水管の老朽更新・耐震化)に着手しています。

(令和5年4月1日現在)

施設名	室蘭地区 工業用水道	苫小牧地区工業用水道		石狩湾新港地域 工業用水道
		(第一施設)	(第二施設)	
所管	室蘭地区工業用水道 管理事務所	苫小牧地区工業用水道管理事務所		石狩湾新港地域 工業用水道管理事務所
給水区域	室蘭市 登別市	苫 厚 安	小 真 平	牧 市 町
給水開始	S42.11	S45.4	┆	S54.4
給水能力	115,000m <sup>3</sup> /日	200,000m <sup>3</sup> /日		12,000m <sup>3</sup> /日
契約水量	102,760m <sup>3</sup> /日	147,250m <sup>3</sup> /日		6,293m <sup>3</sup> /日
契約率	89.4%	73.6%		52.4%
受水企業数	8社	39社		33社
基本料金	18円/m <sup>3</sup>	20円/m <sup>3</sup>		55円/m <sup>3</sup>
配水管延長	25.2km	61.6km		42.4km
総事業費 (百万円)	4,900	1,430	┆	5,358
				16,818

# 室蘭地区工業用水道

## 事業の概要

室蘭地区工業用水道は、室蘭地区の工業地帯に工業用水を供給するため、昭和39年1月に着工し、昭和42年10月に完成しました。

当工業用水道は、登別市幌別市街を横断する胆振幌別川の河口の上流約2.5km地点に築造した幌別ダムから取水し、登別市鷺別町地点まで自然流下、さらにポンプにより加圧し、総延長約25kmの配水管を経て室蘭市内の鉄鋼関連企業等に供給を行っています。なお、給水能力は日量115,000立方メートルとなっています。

給水開始	昭和42年11月
最大給水能力	115,000 m <sup>3</sup> /日
給水区域	室蘭市、登別市
取水源	ダム貯留水
取水河川	2級河川胆振幌別川 水系胆振幌別川



鷺別ポンプ場

## 幌別ダムの概要

幌別ダムは、北海道で最初の工業用水専用ダムです。河口近くにあるため道内では数少ない「海に見えるダム」の1つに数えられています。

また、ダム周辺は、鳥獣の良好な生息環境で、ダムを含む500ヘクタールが「幌別ダム鳥獣保護区」に指定されています。ダム右岸及び下流は、登別市が川上公園として整備をし、市民のみなさまの憩いの場となっています。



幌別ダム（海に見えるダム）

## 工業用水の給水図

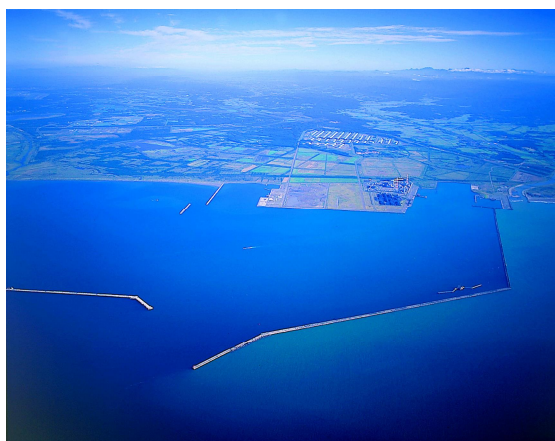


# 苫小牧地区工業用水道

## 事業の概要

苫小牧地区工業用水道は、2つの工業用水道施設を有しており、管理は苫小牧地区工業用水道管理事務所において、一体的に行っています。

第一施設は苫小牧臨海工業地帯に立地する企業に、また、第二施設は苫小牧臨海工業地帯及び東部地区並びに厚真地区に立地する企業に、合わせて日量200,000立方メートルの給水能力で供給しています。



苫小牧臨海工業地帯（東部地域）

最大給水能力	200,000 m <sup>3</sup> /日（第一施設:100,000 m <sup>3</sup> /日 第二施設:100,000 m <sup>3</sup> /日）
給水区域	苫小牧市、厚真町、 安平町（早来大町、早来栄町、早来北町、安平、遠浅、早来瑞穂、早来緑丘、 早来守田、東早来、早来北進、早来新栄、早来源武、早来富岡）

## 苫小牧地区第一施設

苫小牧臨海工業地帯に工業用水を供給するため、昭和43年4月に着工、昭和45年4月から一部給水を開始し、昭和47年3月に全部が完成しました。

当該施設は、樽前山東麓を源として広大な湿原地帯を流れる勇払川に設けた取水堰から取水し、導水路を経て、揚水ポンプにより浄水施設に送水し、浄水処理後、延長約17kmの配水管により、苫小牧市内の石油、化学、非鉄金属、電力関連企業等に供給を行っています。

給水開始	昭和45年4月
取水源	河川表流水
取水河川	2級河川安平川水系勇払川



揚水ポンプ

## 苫小牧地区第二施設

苫小牧臨海工業地帯における工業用水需要に対処するため、昭和47年4月に着工、昭和54年3月に完成しました。

当該施設は、安平川河口から上流約8kmの地点に設けた取水堰から取水し、浄水施設で浄水処理後、送水ポンプにより配水塔に送水し、延長約44kmの配水管により、苫小牧市内などの石油、化学、紙、電力、自動車関連企業等に供給を行っています。

給水開始	昭和54年4月
取水源	河川表流水
取水河川	2級河川安平川水系 安平川



浄水場

## 工業用水の給水図



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平23情使、第712号)」

# 石狩湾新港地域工業用水道

## 事業の概要

石狩湾新港地域工業用水道事業は、国が策定した「石狩湾新港地域開発基本計画」の工業用水道計画において、同地域の開発に必要な産業基盤施設として位置付けられたほか、北海道環境影響評価審議会より、地盤沈下や塩水化防止のため、早期に地下水による暫定工水を解消するよう意見が付されたことから、石狩湾新港地域への工水供給を目的に、国の「幾春別川総合開発事業」における「新桂沢ダム」に水源を確保し、平成11年4月から営業を開始しています。

当工業用水道は、豊平川上流2kmに設けた取水口から、取水ポンプにより取水し、水管橋、導水路を経て浄水施設に送水し、浄水処理後、延長約4.2kmの配水管により、石狩市や小樽市のコンクリート製造、リサイクル、クリーニング、金属加工、食品加工関連企業等に供給を行っています。

なお、供給能力は日量12,000立方メートルとなっています。

給水開始	平成11年4月
最大給水能力	12,000 m <sup>3</sup> /日
給水区域	小樽市及び石狩市(新港地域内)、札幌市(札幌市リサイクル団地及び北区篠路町福移のうち道道128号線以南)の区域
取水源	河川表流水
取水河川	1級河川石狩川水系豊平川



中沼浄水場

## 工業用水の給水図



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平23情使、第712号)」